

平成 30 年度 大妻中野中学校 第 4 回アドバンスト入試

(2月3日午前 問題用紙)

社 会

受験上の注意

- (1) この問題用紙は表紙を含めて 13 ページあります。
- (2) 試験開始後ただちにページ数を確認してください。
- (3) 問題用紙・解答用紙それぞれに受験番号と座席番号と氏名を忘れずに記入してください。
受験番号と座席番号は算用数字で記入してください。
- (4) 試験時間は 30 分です。
- (5) 解答は全て解答用紙に記入してください。
- (6) この試験は 50 点満点です。

受験 番号	番	氏名	
座席 番号	番		

1 次の文章と図表を参考に、後の各問いに答えなさい。

大妻中野中学校は東京都に位置し、多くの生徒は東京都とその周辺から通ってきています。首都東京は世界有数の大都市で、日本全国のみならず世界から人やモノが集まるグローバル都市です。一方で、日本の地方都市や市町村は人口の流出が止まらず、集落の維持が困難になるようなところも出てきています。首都東京は大都市であるという印象が強いですが、明治期には東京都（当時の東京府）より人口の多い県がありました。それは a 新潟県です。新潟県は明治 21 年当時、東京都よりも人口が多かったのです。それ以降、新潟県の人口は減少傾向にあります。新潟県に限らず日本海側の地域は b 日本で最も人口の少ない県があるなど、 c 人口減少に悩む地域も少なくありません。

関東地方で暮らす私たちにとって、日本海側の地域との接点はどれくらいあるのでしょうか。 d 日本海側の地域の活動は、私たち太平洋側で暮らす人々の生活にも大きく関わっています。都市部で毎日を安心して生活できる背景には、こういった地方からもたらされるさまざまな資源があることを忘れてはなりません。そこに暮らす人々が心を込めて守る海や山、そして人々のつながりが私たちの生活を豊かにしてくれています。都市と地方の生活は、お互いが共存してはじめて両者が持続していくのです。大都市東京だけでなく、日本全体が持続的に発展していく手立てを考え、知恵を出し合っていくことがこれからの未来を生きる私たちの役割といえます。



問1 下線部 a について、新潟県の位置はどこですか。3 ページの地図中より番号で選びなさい。

問2 下線部 b について、

(1) 最も人口の少ない県はどこですか。3 ページの地図中より番号を選ぶとともに、県名を漢字で答えなさい。

(2) (1) の県の現在から将来にかけての人口構成の変化を示したグラフとして、正しいものはどれですか。次のページから 1 つ選んで、記号で答えなさい。

